

目次

1. 日本いも類研究会令和7年度第1回幹事会.....1
2. 日本いも類研究会令和7年度活動予定.....1
3. 令和5年農業総産出額・生産農業所得及び市町村別農業産出額(推計)より.....2
4. ばれいしょ加工用品種「こいじゃ」について3
5. 令和5年度ばれいしょ原原種品種別配布数量4

1. 令和7年度日本いも類研究会第1回幹事会

日本いも類研究会の令和7年度第1回幹事会を7月2日に開催しました。

小巻会長、岩井副会長、幹事、監事、顧問の方々が Zoom ウェビナーによるオンライン会議にて 2. に掲げる令和7年度活動予定について討議をし、承認されました。令和7年度日本いも類研究会総会は令和8年3月11日(水)に日比谷コンベンションホールで対面と Zoom ウェビナーによるオンラインで行い、総会の後に、一般財団法人いも類振興会との共催による講演会を開催します。

2. 令和7年度の日本いも類研究会の活動予定

※印はさつまいもアンバサダー協会主催

	日本いも類研究会の活動予定	関連団体のスケジュール
4月	ニュースレター及びいも類振興情報の発送 4/17	いも類振興情報4月号(第163号発行)
5月	。	令和6年度かんしょ品質評価研究会報告書送付
6月		戦後80年「太平洋戦争とサツマイモ」を語る会 6/14
7月	日本いも類研究会幹事会第1回(令和7年度活動予定等)7/2 ニュースレター及びいも類振興情報の送付	芋類振興情報7月号(第164号発行) 令和7年度かんしょ品質評価研究会焼きいも関係打合せ 7/8 秋田県さつまいも協議会発足式 7/15 さつまいも北海道プロジェクト SHP 交流会 7/24
8月	令和7年度いも類研究会総会講演会会場予約申請 8/1 第2回異常気象(高温)による芋類の生産・利用への影響と対応に関する情報交換会(開催時期及び発表者については調整中)	夏のさつまいも博(幕張メッセホール3)8/8~8/10
9月	農林水産省いも類関係予算説明会第1回(概算要求) ポテトチップス試食・アンケート調査準備	農林水産省消費者の部屋(さつまいも・じゃがいもの週)準備 令和7年度かんしょ品質評価試験準備会(評価試験準備、試験系統搬入予定等打合せ)
10月	ニュースレター及びいも類振興情報の発送 令和7年度いも類講演会テーマ・講演者選定及び連絡・調整 ポテトチップス試食調査(しんせい、シャイニールピー、ゆめいころ等) ジャガイモシストセンチュウ類抵抗性品種の普及に関する情報交換会(発表者等については調整中)	いも類振興情報10月号(第165号発行) 農林水産省消費者の部屋(さつまいも・じゃがいもの週)10/20~10/24 ※サツマイモ特化型宿泊プラン企画協力(川崎市) ※東宝アニメとのコラボ企画(時期未定)
11月	ポテトチップス試食調査アンケート結果とりまとめ	第13回東アジア唐芋友好大会 11/11 沖縄県嘉手納町野國総管甘藷伝来420年記念事業 11/23 ※百貨店催事協力(日本橋三越)

12月		2025年度ポテトフォーラムの協力 12/8 第37回いも類研究会(九沖研主催)12/11 ※さつまいも料理を楽しむ会
1月	ニュースレター及びいも類振興情報の発送 農林水産省いも類関係予算説明会 第2回(概算決定)	いも類振興情報1月号(第166号発行) 令和7年度かんしょ品質評価試験結果取まとめ ※百貨店催事協力(博多阪急)
2月	日本いも類研究会第2回幹事会(事業報告、収支報告討議)	令和7年度かんしょ品質評価研究会(「焼きいも」は別途開催予定) ※百貨店催事協力(梅田阪神)
2月		※全国かんしょ生産者連絡会議(仮称) ※焼きいも品種食べ比べ勉強会
3月	令和7年度日本いも類研究会総会・講演会 (日比谷コンベンションホール予定)3/11	

3. 令和5年農業総産出額・生産農業所得及び市町村別農業産出額(推計)より

いも類(ばれいしょおよびかんしょ)関係

作付面積が減少傾向で推移する中、ばれいしょにおいてポテトチップ用等の加工食品向けに国産品を求める実需者ニーズが高まっていることや、かんしょにおいて国内外における焼き芋等としての堅調な需要により、令和2年以降、いも類の産出額は2,000億円を超えて推移してきた。令和5年は、前年に比べ102億円(4.6%)増加し、2,301億円となった。

これは、かんしょにおいて需給の緩和により価格が低下したものの、ばれいしょにおいて主産地の天候に恵まれたことから、生産量が増加したこと等が寄与したものと考えられる。

表2 いも類の産出額の推移

区分	単位	令和元年	2	3	4	5
実額	億円	1,992	2,370	2,358	2,199	2,301
対前年増減率	%	1.9	19.0	△0.5	△6.7	4.6

平成7年3月25日に農林水産大臣官房統計部から公表された資料から抜粋・編集している。

詳細は、同省のホームページ「統計情報の」の以下のURLに掲載されている。

●令和5年農業総算出額及び生産農業所得(全国及び都道府県の確報)

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/nougyou_sansyutu/

●令和5年市町村別農業産出額確報

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sityoson_sansyutu/index.html

4. 加工用品種「こいじゃ」について

鹿児島県からばれいしょの加工用品種「こいじゃ」が品種出願されました。

「こいじゃ」の概要は以下のとおりです。

鹿児島県のチルド加工用ばれいしょとして主に利用されている品種は、早生の「とうや」及び中晩生の「ホッカイコガネ」であるが、「ホッカイコガネ」はジャガイモシストセンチュウ抵抗性がないため、現在利用されている品種と同等以上の収量でシストセンチュウ抵抗性を持つ品種が強く要望されている。

「こいじゃ」は、鹿児島県の主力品種の「ニシユタカ」を母、シストセンチュウ抵抗性を有し高でん粉な原料用品種「サクララブキ」を父として2010年に交配し、採種した実生集団より選抜を開始、2024年に育成したチルド加工用品種です。「こいじゃ」は、シストセンチュウ抵抗性を有し、上イモ個数、上イモ収量、でん粉価、チルド加工適性が「ホッカイコガネ」と同等です。

(1)生態及び品質特性

内部異常症の発生において褐色心腐は「ニシュタカ」並、黒色心腐、中心空洞は「ホッカイコガネ」並です。蒸しいものの肉色は“明黄”、肉質は「ニシュタカ」の“粘”に対し“中”で、食味は「ニシュタカ」の“やや否”に対し“中”で優れています。

加工適性としては実需者の加工製造試験において、「こいじゃ」は既存品種「ホッカイコガネ」と硬度、加工後の外観、香り、食味、離水程度が同等です。

(2) 病害虫抵抗性

疫病抵抗性は、罹病程度が「ニシュタカ」と同程度で、抵抗性は“弱”です。そうか病抵抗性は、罹病度が「ニシュタカ」と同程度かやや低く、抵抗性は“やや弱”です。塊茎腐敗抵抗性は、塊茎腐敗率が年次により「ニシュタカ」よりも高く、抵抗性は“弱”です。

(3) こいじゃの将来性

「こいじゃ」の目の数や目の深さは「ホッカイコガネ」と同等で、肉色は明黄色と「ホッカイコガネ」に比べてやや黄色が濃く有利性もある。また、休眠期間は「ホッカイコガネ」並の“中”であり、チルド加工適性は、既存品種と同等です。種イモ生産地である北海道での収量性について、「ニシュタカ」が典型的な「個重型」の特性を示したのに対し、「こいじゃ」は個数が多く、1個重は軽い「個数型」の傾向を示した。小粒で個数を確保しやすく、「こいじゃ」は種イモ生産に有利性があると考えられた。

これらのことから、シストセンチュウ抵抗性を有し、チルド加工適性が優れる「こいじゃ」を「ホッカイコガネ」に置き換えることで、重要害虫であるシストセンチュウの対策につながり、種イモの安定生産が図られ、チルド加工用原料の安定供給に寄与することが期待される。

「こいじゃ」は令和6年度より原原種生産を開始しています。

5. 種苗管理センターが配布しているばれいしょ原原種の品種別配布申請数量(令和5年度)

ジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種

単位: 袋/20kg

1	コナヒメ	10,514	24	サッシー	80
2	きたひめ	3,475	25	アイユタカ	72
3	キタアカリ	2,987	26	ユーロビバ	65
4	さやか	2,335	27	ソレンティーナ	60
5	とうや	2,290	28	ムサマル	50
6	オホーツクチップ	2,028	29	アトランチック	50
7	コナユタカ	2,026	30	ながさき黄金	44
8	ぼろしり	1,851	31	リラチップ	42
9	きたかむい	826	32	普賢丸	35
10	ゆめいころ	636	33	シャイニールビー	34
11	アーリースターチ	592	34	ノーザンルビー	30
12	ハロームーン	582	35	キタムラサキ	24
13	パールスターチ	435	36	CP14	24
14	フリア	331	37	ノーブルシャドー	22
15	スノマーチ	314	38	こがね丸	12
16	アンドーバー	290	39	さやあかね	12
17	アイマサリ	267	40	アルバン	10
18	ピルカ	205	41	あかね風	10
19	はるか	189	42	ときすばる	10
20	しんせい	182	43	しまあかり	10
21	さんじゅう丸	140	44	ファボラ	5
22	十勝こがね	120	45	ベンタナ	5
23	ひかる	96	46	バルーナ	5

ジャガイモシストセンチュウ非抵抗性品種

1	男爵薯	7,561
2	メイクイン	4,783
3	トヨシロ	3,708
4	ニシユタカ	2,255
5	デジマ	2,075
6	ホッカイコガネ	1,843
7	スノーデン	1,621
8	インカのめざめ	621
9	ワセシロ	236
10	アンデス赤	215
11	マチルダ	192
12	農林1号	106
13	シンシア	84
14	北海50号	60
15	レッドムーン	59
16	西海31号	24
17	シャドークイーン	20
18	クラウドペチカ	6
19	タワラマゼラン	6
20	タワラマイル彦星	4
21	タワラワイス	4
22	三円薯	4
23	イータテベイク	1

注) ばれいしょ原原種生産に占める、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種の割合が増加しています。

でん粉原料用品種ではコナヒメ、コナフブキ等抵抗性品種にほとんど置き換わっていますが、生食用品種はいまだに男爵薯、メイクインの配布量がキタアカリ、とうやなどを上回っています。

注目の生食用品種ゆめいころは大幅に配布量が増えています。今後の普及に注目しています。